

令和7年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立谷中小学校

児童の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
【国語】 <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を覚えて正しく書くこと。 ・既習漢字を正しく使って文章を書くこと。漢字の部首が間違っていたり、既習漢字を使わずに平仮名で書いたりすること。 ・問題の意図を正確に捉えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を正しく読んだり、書いたりする力。 ・既習の漢字を正しく書いたり、日常で使ったりする力。 ・題意を正しく捉える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を全体指導する際、書き順や文字の形、部首や漢字の成り立ちなど児童の図示するなどして印象に残るよう教える。習った漢字は、その日の家庭学習として反復的に出し、テストなどで定着を図る。 ・テストや授業内のドリルを用いて、定期的に既習漢字の定着を図ったり、各教科のノートを確認して既習漢字を使うよう個別指導したりする。 ・問題文や本文を繰り返し読むことや、助詞に注目して正確に読むことを指導する。
【算数】 <ul style="list-style-type: none"> ・長文の問題に対して、正しく読み取ること。 ・自分の考えを分かりやすく説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題を正しく読み、思考する力。 ・自分の考えをノートに表現し、それを基に分かりやすく説明する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に問題を整理して提示したり、式を書くために必要なキーワードを伝えたりする。 ・自力解決の時間を十分に設け、自分の考えを式や図で書けるようにする。考えをペアやグループ学習をとおして共有することで自分の言葉で説明する機会を増やす。また、全体発表の場では、よいノートの書き方や説明方法を共有する。